

公共交通空白不便地域における 新たな公共交通システムの導入検討について（案）

1 新たな公共交通システムの導入検討にあたっての基本的な考え方

新たな公共交通システムの導入に当たっては、「柏市地域公共交通網形成計画」に定める『基本方針』に掲げられている5つの基本方針を踏まえ、その検討を行う。

特に、公共交通空白不便地域における公共交通の適切な見直しについては、「基本方針1 地域状況に応じたバス路線への再構築」に含まれ、地域の状況に応じ、日常生活に役立つ交通システムの導入とすることを目標に検討する。

なお、公共交通空白不便地域における新たな公共交通システムのサービス内容及びサービス水準を検討するに当たっては、柏市全体の公共交通ネットワークに関係するため、全基本方針を踏まえて検討する。

【基本方針】

- 1 地域状況に応じたバス路線への再構築
- 2 交通モード間の円滑化を推進
- 3 高齢者等に配慮した交通環境の構築
- 4 中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存
 - * 都市拠点である柏駅へ新たな公共交通システムが乗り入れることも含み、新たな公共交通システムのサービス内容及び水準を検討する必要がある。
- 5 公共交通利用促進

2 新たな公共交通システムを導入するエリアの選定方針

基本方針を踏まえつつ、「柏市地域公共交通網形成計画」の全体的な考え方を取り入れ、新たな公共交通システムを導入するエリアの選定方針を以下のとおり設定する。

①高齢者を中心とする市民の日常生活における移動を支える交通システム

新たな交通システムを導入することで、高齢者をはじめ市民の移動の利便性が向上することを目指す。

特に、自動車の運転ができないこと等の理由から、日常生活における買い物、通院、近隣センター等の公共施設への移動手段を持っていない可能性の高い高齢者等の日常の足を確保することを目的にし、新たな公共交通システムの必要性を検討する。

②公共交通空白不便地域の改善・解消に寄与する公共交通システム

日常生活及び社会生活に必要な移動サービスを提供することにより、既存公共交通機関ではカバーされていない居住地域（公共交通空白不便地域）の改善・解消に資する交通システムとする。

ただし、公共交通空白不便地域への対応を新たな公共交通システムの導入だけで行うのではなく、路線バス等の既存交通サービスの改善、交通結節点（自動車駐車場、自転車駐輪場など）の整備等を組合せ、対応を図ることも考慮する。

③路線バスなどの既存の公共交通と役割を分担し、共存・連携強化が図られる公共交通システム

市内には、鉄道や民間路線バス、タクシーなど多様な公共交通が運行されている。

そのため、新たな公共交通システムの導入に当たっては、これら既存公共交通との役割分担を明確にし、共存・連携強化が図られる公共交通システムとする。

④民間活力の有効活用

新たな公共交通システムを導入するにあたっては、可能な限り、民間活力の有効活用を考えることとする。

民間路線バス、企業バス、商業施設等が運行するバス、医療機関・福祉事業者が運行するバス、スクールバス等の、多様な主体が提供している既存の交通サービスとの組合せを検討し、現在有効なストックを活用することも視野に入れて、新たな公共交通システムを構築する。

⑤持続可能な公共交通システム

提供する新たな公共交通システムを含めた市全体の公共交通網のまちづくりとの一体性による持続可能性を確保するため、サービス水準の検討に当たっては、市の財政負担の適切性を考慮するとともに、各サービスを提供する交通事業者の経営面についても配慮する。

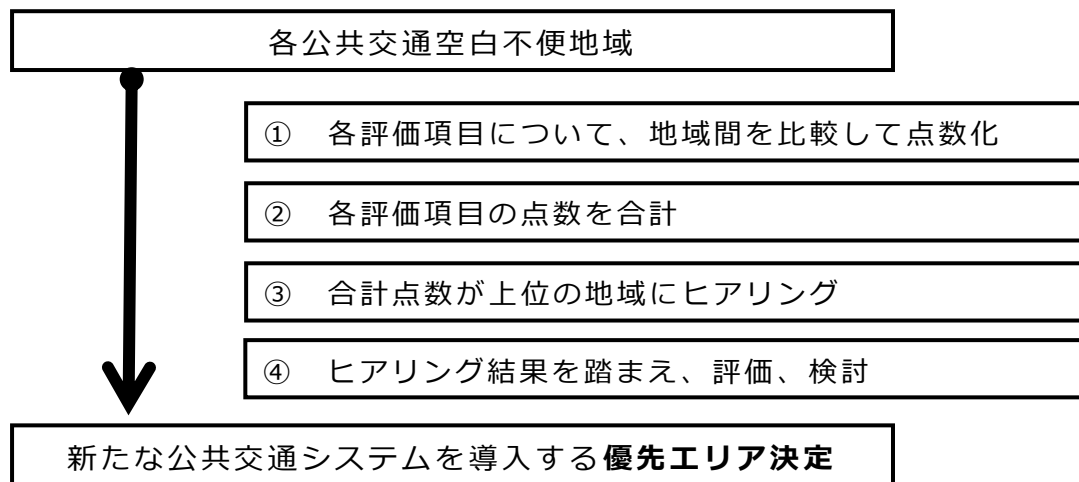
また、新たな公共交通システムの導入に当たっては、実証運行を実施し、PDCAサイクルの考え方のもと、利用状況、事業収支等について評価・検証を行うとともに、必要に応じて見直しを行い、地域の実状に即した持続可能な公共交通システムを構築する。

なお、公共交通空白不便地域における交通を検討する際には、地域住民が主体となった協議会組織に柏市及び交通事業者も連携して、協議を進める手法も検討する。

3 新たな公共交通システムを導入するエリアを選定するための評価項目

新たな公共交通システムの導入が必要なエリアを選定するために、地域を評価する項目（評価項目）を設定し、各項目に対し評点を付けて新たな公共交通システムを導入するエリアの優先順位を検討する。

■評価の流れ



■評価項目

大区分	小区分	評価の視点
人口	人口	✓ 新たな公共交通システムの利用対象者総数について検証
	人口密度	
	65歳以上の人口・割合	
	75歳以上の人口・割合	
世帯構成	世帯数	✓ 新たな公共交通システムを必要とする可能性の高い高齢者の状況について検証
	65歳以上の独居世帯数・割合	
	65歳以上の夫婦世帯数・割合	
	75歳以上の独居世帯数・割合	
	75歳以上の夫婦世帯数・割合	
環境	路線バス運行状況	✓ 交通環境、生活環境について把握し、新たな公共交通システムの必要性を検証
	商業施設立地状況	
	医療機関立地状況	
	土地の高低差	
	企業バス（商業施設）路線の状況	
	企業バス（病院）路線の状況	
その他	市の既存計画との整合性	

※今後、地域へのヒアリング結果を踏まえ、評価項目を追加します。